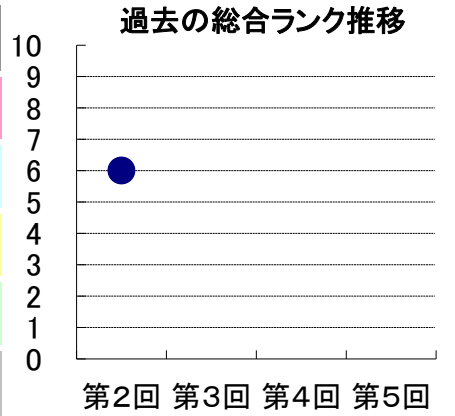


第3回 思考力テスト 中級

実施日	2013/12/2
受験番号	80080000002
受験会場	デモゼミナール
氏名	田中 一郎
学校名	中央小学校
学年	小学6年生

分野	問題数	解答数	正解数	ランク	順位	第2回	第3回	第4回	第5回
図形形態認識能力	40	24	19	6	1135 / 2259	6			
空間位置把握能力	40	22	14	5	1353 / 2259	5			
数論理能力	60	27	20	5	1366 / 2259	5			
言語能力	29	20	17	7	877 / 2259	7			
総合	169	93	70	6	1177 / 2259	6			



各分野の特徴

図形形態認識能力

図形形態認識能力とは、全体的に注意して物事を見る力のことです。例えば、お手本を見てそれと同じものを正しい位置・形に書くことが出来る力を意味します。この訓練をすることで、全体注意力、全体把握力を育てることができます。

空間位置把握能力

空間位置把握能力とは、私たちの生活している3次元空間を把握する力のことです。この力を育てることで、広い視野・構成把握能力・関係把握能力が育ち「全体的に見る」「全体と部分の関係をみる」という力を獲得させることができます。

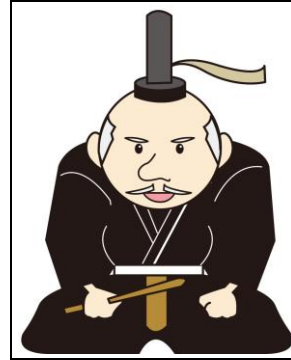
数論理能力

数論理能力とは、抽象化する能力であり、創造力であり、問題解決能力です。法則性や決まりを自ら発見する能力を訓練し、豊かで楽しい数体験をたっぷり経験させることで、子ども自身が自ら作り上げる問題解決能力なのです。

言語能力

言語能力は、文章を「聞く」→「見る」→「読む」→「書く」という順番で学習することにより獲得できます。力がつけば、各場面で文章の意図することや、隠れた意味を理解できるようになり、コミュニケーション力を育成することにつながります。

お子さまは何タイプ！？



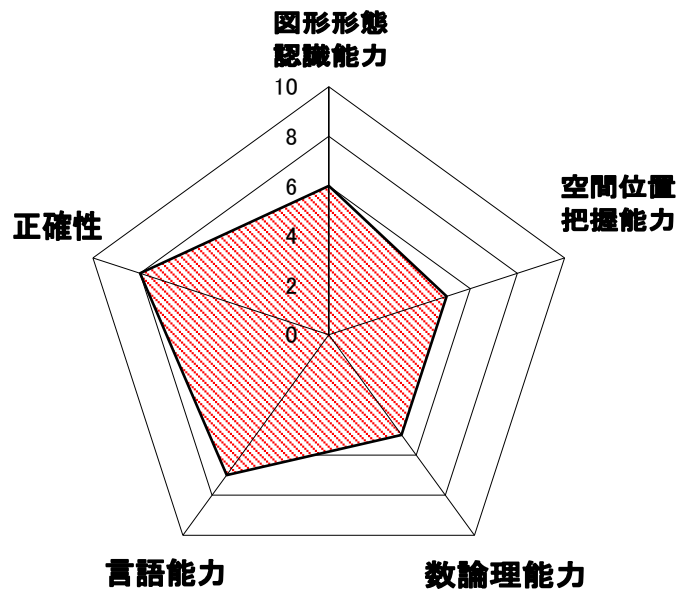
お子さまは **徳川家康** タイプ！

今回の4分野を総合的に見ると、お子さまは図形・正確性の分野における能力が高いようです。これらの能力は、物事を客観的に、かつ正確に判断するために必要な能力です。直面している問題全体を見渡して、確実に解決策を打ち出せる力を持っていると言えます。今後この能力を伸ばすことで、算数・数学で抜群の力を発揮するでしょう。

ただ、全体の中では、数論理能力が低いようです。この能力を伸ばすには、「問題解決能力」を向上させる必要があります。「算数の世界って面白い！」と思えるような、「楽しい成功体験」を何度もお子さまに与えることが必要です。

1600年、関ヶ原の戦いで石田三成を破り、その後江戸に幕府を開きます。將軍職を退いた後も強い影響力を持ち、その後15代まで続く江戸250年の礎を築きました。緻密な策略家、機を見逃さない能力の高さは戦国時代随一です。

テスト結果レーダーチャート



テスト結果に対する分野ごとのコメント

図形形態認識

平均的な図形形態認識能力を持っています。今後お子さまがこの力を更に伸ばしていくと、「空間把握能力」や「数論理能力」の向上につながります。そのためにはまず「点描写」「図形遊び」などの訓練が効果的でしょう。お子さまに図形形態認識能力が十分に備わった後でその他の能力のアップに取り組むのがよいでしょう。

数論理

平均的な問題解決能力をお持ちです。数論理能力は、物事を抽象化する能力であり、お子さまのこれからの訓練によって伸ばすことができる能力です。そのためには、お子さまに「成功体験」を経験させることが重要です。特に算数の分野での成功体験は大きなプラスとなるでしょう。お子さまに「面白い！」と思わせることが大切です。そうすることが、お子さまの今後の成長の大きな手助けとなるでしょう。

正確性

すばらしい正確性を発揮しています。お子さまは、自分が解く問題に対して集中して取り組むことができている。学習したことを確実に成績に残せる資質を持っていらっしゃると思いますので、失敗を恐れることなく、どんどん前に出てたくさんの経験をさせてください。

空間位置把握

立体を多角的な方向から見る能力を伸ばしてあげましょう。これは、身の周りの出来事を多角的に捉える注意力にもつながりますので、更に広い視野を持つための練習が必要です。具体的には、お子さまがテストを解き終わった後に見直しを行い、ケアレスミスがなくすよう心がけたり、国語の文章を読む際に、行ごとに切らずにスムーズに音読したりする練習を行うと全体注意力強化に繋がります。

言語

言語能力が優れています。言語能力とはコミュニケーションを高めるためのものであり、人間性を高めるためのもので、最も高度な能力とも言えます。更なる能力の定着のためには、日頃から文章を「聞く」→「見る」→「読む」→「書く」という順番の学習姿勢が必要です。そうすれば、今後の成長にも大きな期待ができます。

解答記入数：93 正解数：70 正確率：75%